



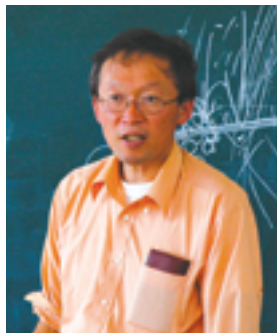
させば市民活動交流プラザで開催の学習会(下:ボカシ作り実習)



たまおく交流室

「大地といのちの会」代表
吉田俊道さん

無農薬の安全な野菜を作りたいと、長崎県職員を退職して有機農業に取り組む。



消費者が好む野菜を農家は作ります。だから消費者である市民に、無農薬の安全で栄養価の高い野菜のことを分かってほしいと考えたのが、市民活動を始めるきっかけでした。生ごみは、命のもととなる食べ物を生かす宝物なんです。

現代社会はさまざまな問題を抱えていますが、この活動で、元気な土が食べ物を通して人を健康にし、元気な子どもを育て、それが活力ある社会や明るい未来につながっていると感じることができます。活動を継続させるためには、成果が見えることが大切です。活動の輪が広がり、成果が見えると、やりがいを感じて続けたいと思います。わたしは、人と人がつながる草の根の運動が世の中を動かすのだと思います。

市民協働によるまちづくりの実現には、市民と行政がお互いの立場を理解した上で、対等なパートナーとして対話し、協力することが必要ではないでしょうか。

お尋ね
大地といのちの会・たまおく交流室
(☎2600)

市民一人ひとりが広げる活動の輪

〜生ごみリサイクルで元気野菜作り〜

させば市民活動交流プラザを拠点に、「生ごみを土に返し、命あふれる土から元気な野菜作り」の普及に取り組む、市民団体「大地といのちの会」の皆さんの活動をご紹介します。代表の吉田俊道さんは、化学肥料や農薬の多用で野菜の栄養価は昔に比べて減っていると指摘します。そこで同会は、米ぬかに乳酸菌などの有用微生物を増殖させた「ボカシ」を使って生ごみをリサイクルし、それを肥料に野菜栽培を実践しています。ボカシを混ぜた生ごみは、土に戻すとたくさんの微生物などがそれを食べて分解し、肥料に変わります。この土は、微生物などの働きで栄養が豊かになり、農薬を使わなくても病害虫がつきにくく、ビタミンやミネラルが豊富な栄養価の高い野菜を

栽培できるということなのです。三百人を超える同会の会員は、地域や学校などに出向き、生ごみリサイクルや野菜作りの方法などを教えています。また、毎月第3土曜日は、させば市民活動交流プラザで定例の学習会を開催し、生ごみリサイクルの野菜作りに関心を寄せる参加者にその手法を教えたり、情報交換をしたりしています。9月には、さらなる情報発信や交流の場として、市内百貨店の屋上に「たまおく交流室」がオープンしました。会員のボランティアが常駐し、生ごみリサイクル野菜作りについて気軽に質問できるほか、ビデオや本の貸し出しを行うなど、新たな情報・交流の場になっています。

環境フェスタinハウステンボスにて(10月)



野菜の一番元気な生長点を顕微鏡で観察する参加者



会員などが生ごみリサイクルで栽培した野菜を会場に展示しました



生ごみリサイクルで栽培したニンジンで作ったジュースは、甘くておいしいと評判でした

ニュース
プラザNEWS

イベント開催!

市民が集い、交流できる場を作ることを目的に、させば市民活動交流プラザ入居団体を中心に企画した「とのお市民プラザまつり」が11月12日(土)に開催され、たくさんの市民が参加し、交流しました。

プロ野球マスターズリーグ開催!

12月4日(日)、元プロ野球選手がプレーするマスターズリーグの公式戦「福岡ドラゴンズ」対「名古屋エイトデイズ」が佐世保野球場で開催されます。企画には、同プラザの入居・登録団体や競技団体、行政が参画し、開催に向けて協働で取り組みました。



中央地区総合型地域スポーツクラブ「Will Do」が12月にオープン!

中央地区(主に旭・花園・清水中学校区)に、子どもから高齢者まで、スポーツや文化活動(23種目)を気軽に楽しめるスポーツクラブがオープンします。クラブハウスは、旧戸尾小学校跡地のエコプラザ2階にあります。クラブの主役は「地域の住民」で、設立の準備も地域の住民が行いました。世代や種目、技術のレベルを超えて交流できるクラブです。

お尋ね Will Do事務局 (☎25-9373)

【させば市民活動交流プラザ】

(☎・ファクス23-6070)

開館時間

火曜～土曜 10時～22時

日曜・祝日 10時～18時

(月曜、年末年始は休館)

させばNPO・ボランティア支援ネットのホームページでは、同プラザの館内案内図や登録団体などの情報を見ることができます。

<http://www.sasebo-npo.jp>

市民活動の拠点として
ご利用ください



4月1日、旧戸尾小学校跡地に「させば市民活動交流プラザ」を開設して、市民公益活動団体の活動などが活性化するための支援を行っています。

現在、8団体が同プラザに入居しているほか、58団体(10月末現在)が登録して、講習会の開催や各団体との情報交換など、さまざまな形で同プラザを活用しています。

ボランティア活動などの相談窓口や団体向けの貸し会議室・ロッカー、作業スペースを備えた施設です。市民活動の拠点として、どうぞご利用ください。



交流スペース 簡単な打ち合わせなどができるほか、NPO関係の図書を貸し出しています。

サポートルーム 「佐世保市社会福祉協議会ボランティアセンター」と「NPO法人Soup-Upさせば」の2団体が入居し、ボランティアやNPOなどの市民活動に関する相談に応じます。作業スペース 印刷機や紙折り機を設置しています。

会議室 20～50人程度が利用できる会議室が4部屋あります(写真は市民公益活動団体向けに開催された研修会の様子)。

